



法政大学大学院 スポーツ健康学研究科

修士課程

2023年度 入学試験要項

スポーツ健康学研究科への出願を検討されている皆様へ

スポーツ健康学研究科では、定期的に行なう進学相談会の他に、教員との個別相談を随時受け付けています。ご自身の研究計画の検討に際し、このような機会を積極的に活用するようにしてください。

なお、2022 年度入試から、提出書類「E 研究計画書（様式 3）」については、必ず事前に指導教員に相談するようにしてください。ただし、個別相談を実施した場合でも、指導教員が希望した教員とならない場合もあります。

個別相談を希望する方は、以下の内容を記入（メール添付可）して、スポーツ健康学研究科（スポーツ健康学部）[sports@hosei.ac.jp]までお申し込みください。

メール件名：スポーツ健康学研究科 個別相談希望

記入項目

- ①自己紹介（大学、学部、職業、氏名）
- ②連絡先（メールアドレス、電話番号）
- ③研究テーマ（現在検討中の内容で可）
- ④相談希望教員名（指導希望教員名）
ご自身の研究テーマを踏まえ、研究科ホームページや大学院案内を確認し、必ず相談希望の教員を記入してください。
- ⑤相談希望時期
日程調整の必要上、ある程度幅を持たせた希望時期（例：7 月第 3 週 等）を複数あげてください。

[注意事項]

担当教員との日程調整には、ある程度の時間がかかります。出願期間直前にご連絡いただいても、出願締切日までに対応できない場合がありますので、余裕を持って申し込むようにしてください。

1. 募集人員

課程	専攻	入試方式	募集人員
修士課程	スポーツ健康学専攻	秋季一般入試	10 名
		春季一般入試	

* 募集人員は学内選抜入試も含めた全入試方式を合計したものです。

2. 出願資格

次の(1)～(9)のいずれかに該当する者

(1)	大学を卒業した者、又は2023年3月末までに大学卒業見込みの者
(2)	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は2023年3月末までに同機構より学士の学位を授与される見込みの者
(3)	外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2023年3月末までに修了見込みの者(※1)
(4)	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は2023年3月末までに修了見込みの者(※1)
(5)	我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は2023年3月末までに修了見込みの者(※2)
(6)	外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は2023年3月末までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者(※3)
(7)	専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(2023年3月末までに修了見込みの者も含む)(※4)
(8)	文部科学大臣の指定した者
(9)	本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

※1 学士学位を取得(2023年3月末までに取得見込みを含む)していない場合は該当しません。

※2 文部科学大臣指定外国大学日本校を指します。対象となる学校は、文部科学省ホームページを参照してください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/001.htm

※3 ・学士の学位に相当する学位を授与されていない場合は該当しません。たとえば、中国の3年制大学(専科大学・職業学院等)のみ卒業し、学士学位を取得していない場合は該当しません。

・「その他の外国の学校」とは、その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限りです。

・「修業年限が3年以上である課程を修了する」方法には、当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること、及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

※4 対象となる専修学校の専門課程については、文部科学省ホームページを参照してください。(アドレスは上記を参照のこと)

- *出願資格（2）～（8）で受験希望の場合、各入試の出願締切日 2 週間前までに問い合わせの上、出願資格を確認してください。
- *出願資格（9）で受験希望の方は、「7. 個別の入学資格審査」の欄を参照し、必要な手続きを行ってください。
- *本研究科の入学試験において、上記出願資格のいずれかに該当する見込みで受験し、合格した者について、その資格に該当しないことが判明した場合は合格を取り消します。

3. 入試日程

（1）秋季入試

① 出願期間

2022 年 9 月 28 日（水）～10 月 11 日（火）（郵送のみ受付（必着）

*受験票は試験日の 5 日前までには発送します。

② 試験日程

10 月 22 日 （土）	10:00～11:30	11:30～12:30	12:30～
	専門科目 （参照不可）	休憩	口述試験

*試験会場：法政大学多摩キャンパス スポーツ健康学部棟

*受験者は 9 時 50 分までに必ず試験会場に入室してください。

*試験時間中の途中退席はできません。

*試験会場内の食堂・売店は閉店しているため、昼食は持参してください。

③ 合格発表日時および発表方法

2022 年 11 月 4 日（金）10:00

法政大学多摩キャンパス スポーツ健康学部棟掲示板 もしくは

試験当日に配布する「合格発表について」内に記載されている URL に掲載

合格者には、合格通知書および入学手続き書類を速達で郵送します。

④ 入学手続期間

2022 年 11 月 5 日（土）～11 月 17 日（木）

（2）春季入試

① 出願期間

2023 年 1 月 20 日（金）～2 月 3 日（金）（郵送のみ受付（必着）

*受験票は試験日の 5 日前までには発送します。

② 試験日程

2 月 18 日 （土）	10:00～11:30	11:30～12:30	12:30～
	専門科目 （参照不可）	休憩	口述試験

*試験会場：法政大学多摩キャンパス スポーツ健康学部棟

*受験者は 9 時 50 分までに必ず試験会場に入室してください。

*試験時間中の途中退席はできません。

*試験会場内の食堂・売店は閉店しているため、昼食は持参してください。

③ 合格発表日時および発表方法

2023 年 3 月 2 日（木）10:00

法政大学多摩キャンパス スポーツ健康学部棟掲示板 もしくは
試験当日に配布する「合格発表について」内に記載されている URL に掲載
合格者には、合格通知書および入学手続き書類を速達で郵送します。

④ 入学手続期間

2023 年 3 月 3 日（金）～3 月 10 日（金）

4. 選考方法

専門科目	スポーツ・健康に関して専門用語を説明する問題と、データに基づいて論述する問題を出題します。 - 専門用語の説明は、スポーツコーチング、ヘルスプロモーション、スポーツマネジメントの各領域から 2 問ずつ（計 6 問）出題し、この中から 3 問を選択して、それぞれ 120 文字程度で説明を求めます。 - 論述は 1 問です。データを読み取り、1,000 文字程度で論述を求めます。
口述試験	入学志願票と研究計画書を基に、大学院における学修および研究活動を進めるのに必要な能力と意欲を評価します。

5. 出願手続

（１）入学検定料 35,000 円

（２）提出書類

提出書類は黒ボールペン（消せるボールペンは不可）で楷書にて記入してください。

	提出書類	様式
A	封筒貼付用紙 出願書類一式を角形 2 号サイズの封筒に入れ、この用紙を貼って送付してください。	
B	出願書類確認一覧表 提出書類確認欄に○を記入し、この用紙を表紙にして提出してください。	
C	受験票送付用住所 - 受験票が確実に届く住所を記入してください。 振込依頼書 - 入学検定料を銀行窓口で納入し、銀行の出納印を計 3 か所に押してもらってください。 - 入学検定料を A T M から納入する場合、依頼人氏名（カナ）は「15 ホウセイ タロウ」のように氏名の前にコード「15」を入力（スペースはをいれない）してください。納入時のご利用明細書を受験票送付用住所にクリップ等で留め、合わせて提出してください。 - 入学検定料をオンライン決済（クレジットカード）やネット受付店頭支払い（コンビニエンスストア）で納入する場合、巻末記載の手順に従ってください。また、納入時の収納証明書を受験票送付用住所にクリップ等で留め、合わせて提出してください。	様式 1

D	入学志願票 ・写真は出願前3か月以内に撮影したものを貼付してください。 ・スナップ写真やデジタルカメラなど個人で撮影した写真、プリンターで出力したもの、その他不鮮明なものは受付できません。		様式 2
E	研究計画書 ・研究テーマ、研究目的、研究計画を記入してください。		様式 3
F	卒業（見込）証明書 1通 ・日本の大学卒業（見込）の方のみ提出してください。		
	学士学位取得（見込）証明書 1通 ・外国の大学卒業（見込）の方のみ提出してください。		
G	成績証明書 1通 ・編入学・学士入学している方は、前籍の成績証明書も提出してください。 ・卒業（見込）証明書と成績証明書を兼ねている場合は1枚の提出で結構です。		
H	英語能力に関する証明書（原本） 1通 以下のうちいずれか1つの資格を証明できるもの（原本1通）を提出 ※英語検定試験以外は、入試日から起算して過去2年以内に受験したものに限りします。		
	・TOEFL® (iBT) 42点以上（日本にて受験した場合にのみ有効） ※TOEFL スコアに関しては「TOEFL iBT® Special Home Edition」、「TOEFL ITP® Plus for China」も対象といたします。		
	TOEFL® (iBT)	提出書類 ※下記2種類必要	提出方法
		Test Date スコアが出願基準を満たしている Official Score Reports の原本	ETS より出願締切日までに本学に直送された Official Score Reports のみ有効とします。スコア到着には時間を要します。出願締切日までに到着するように、十分余裕を持って受験と Official Score Reports の大学への直送手続を行ってください(出願期間より前に到着してもかまいません)。大学への直送手続を行ってください。Institution Code は0407です。
	TOEFL® L&R	Test Date スコアが出願基準を満たしている受験者用控えスコアレポート Test Taker Score Report のコピーまたは My TOEFL Home からダウンロード（印刷）した Test Taker Score Report	出願期間内に他の出願書類と一緒に封筒に入れて提出してください。 なお、右上余白に Official Score Reports の直送手続日を手書きで記入してください。
	・TOEIC® L&R 550点以上 （日本にて受験した場合にのみ有効。ただし IP 試験は不可。また「TOEIC® S&W」、「TOEIC® Speaking」、「TOEIC® Writing」、「TOEIC Bridge®」は不可）		
	TOEIC® L&R	提出書類	提出方法
		TOEIC®L&R の公式認定証 (Official Score Certificate)	出願期間内に他の出願書類と一緒に封筒に入れて提出してください
	・実用英語技能検定 2 級以上		
	実用 英語 技能 検定	提出書類	提出方法
		合格証明書または CSE スコア証明書 ※和文・英文どちらでも可 ※個人成績表は不可	出願期間内に他の出願書類と一緒に封筒に入れて提出してください。

I	戸籍抄本 1通 ・証明書と出願時の姓名が異なる場合に提出してください。	
J	住民票（外国人志願者のみ提出、市区役所・町村役場発行のもの） 1通 ・「在留資格」と「在留期間」が記載され、個人番号（マイナンバー）が記載 されていないものを提出してください。日本に住所登録がない場合（短期滞在 ビザでの入国等）はパスポートの写し（写真および旅券番号がわかる ページと ビザのページ、ビザ免除国に該当する場合は出入国印が押印されているページ） を代わりに提出してください。	

（３）提出書類の注意事項

① 外国人志願者の方

上記（２）の提出書類のうち入学志願票、研究計画書は日本語で記入してください。

② 外国の大学を卒業（見込）の方

- ・成績証明書、学士学位取得（見込）証明書などの書類は、英語または日本語のものを提出してください。提出が困難な場合には、大使館などの公的な機関で、自分で用意した英訳または日本語訳の証明書の翻訳が正しいことの公証書を発行してもらい、証明書原本と翻訳文、公証書を合わせて提出してください。

（４）出願方法

- ・出願期間内に、検定料を納入してください。
- ・提出書類を揃え、所定の封筒貼付用紙を貼付して出願期間内に郵送（速達簡易書留）してください。
- ・出願は締切日消印有効とします（厳守）。

6. 入学手続

（１）学費（2023 年度予定）

	入学手続時納入金	秋学期納入金	年間合計
入 学 金	200,000 円	—	200,000 円
授 業 料	322,400 円	322,400 円	644,800 円
教育充実費	50,000 円	50,000 円	100,000 円
実験実習費	50,000 円	50,000 円	100,000 円
諸 会 費	2,000 円	—	2,000 円
総 額	624,400 円	422,400 円	1,046,800 円

* 本学出身者は入学金が無料です。

* 2 年次は上記のうち入学金以外の金額が必要になります。

* 秋学期納入金は 2023 年 9 月末日までに納入していただきます。

（２）注意事項

本学への入学手続きを完了した後に（入学時納入手続金を全額納入した後に）、やむを得ない理由により入学の辞退を希望し、2023 年 3 月 31 日までに大学が定める手続きにより届け出を出したものには、入学金を除く学費その他の納入金を返還します。入学手続等の詳細は、合格者に送付される「入学手続書類」を参照してください。

7. 個別の入学資格審査

本学大学院への出願希望者で出願資格を満たしていない場合、個別の入学資格審査を受ける必要があります。以下の書類を提出期限までにお送りください。

(1) 提出書類

	提出書類	様式
A	入学志願票	様式2
B	最終学歴証明書（在籍期間のわかるもの）	
C	成績証明書	
D	論文等 専門領域および研究課題に関する論文（2,000字以上）。なお、学術雑誌等に掲載された論文があれば、その別刷りまたはコピーの提出をもって、これに代えることができます。	

(2) 提出期限

受験を希望する入試の出願締切日1ヶ月前まで（必着）

(3) 審査結果

審査結果は郵送で通知いたします。審査で認められた者のみ、通常の出願手続きを取り出願することができます。

8. 書類提出先および問合せ先

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

法政大学大学院 スポーツ健康学研究科（スポーツ健康学部）

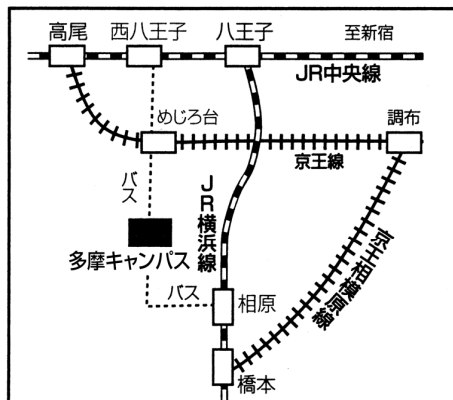
TEL：042-783-3003 FAX：042-783-3009

E-mail：sports@hosei.ac.jp

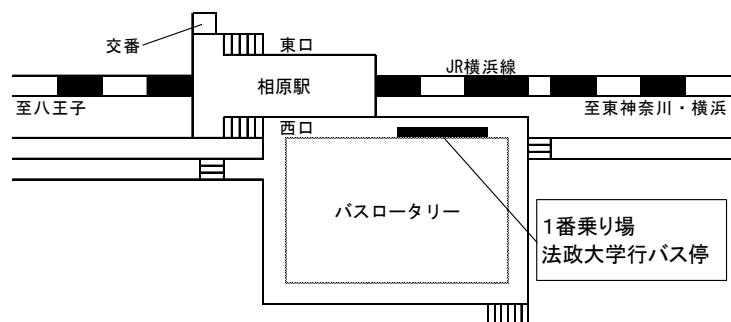
校舎案内図



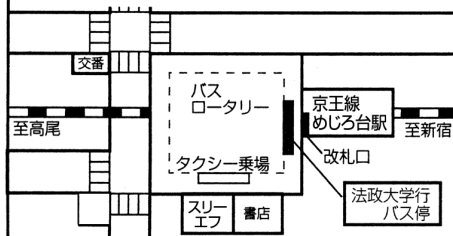
- 京王線新宿駅より特急で45分（急行で50分）、めじろ台駅下車 京王バスで約10分
 - J R 中央線新宿駅より快速で54分（特別快速で42分）西八王子駅下車 京王バスで約22分
 - J R 横浜線新横浜駅より38分相原駅下車 バスで約13分
- ※上記各バスで「法政大学」下車



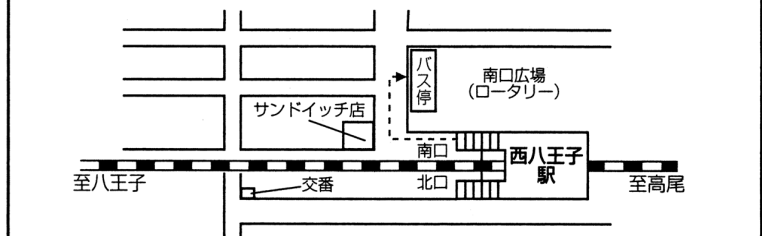
JR相原駅バス停案内



京王線めじろ台駅バス停案内



JR西八王子駅バス停案内



法政大学大学院 スポーツ健康学研究科
修士課程 過年度 入学試験問題
(2020～2022 年度)

受験番号_____

氏名_____

2020 - 秋季一般

法政大学大学院
入学試験問題用紙

試験科目	スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻
専門科目	試験時間 90 分

解答は全て解答用紙（別紙）に記入すること。

問1. 次の用語のうちから3つを選び、それぞれ120文字程度で説明しなさい。
（各解答欄の上に、選択した項目の番号を記すこと）

1. ロコモティブシンドローム
2. 骨粗鬆症
3. スポーツ消費者の向社会的行動
4. スポーツの社会的効果
5. ティーチャーとコーチについて
6. コーチングスタイル

問2. 次の設題について、1000文字程度で論述しなさい。

スポーツ庁が発表した「スポーツが個人や社会にもたらす効果」（表1）のデータから全体的傾向を読みとり、①身体的側面、②心理的側面、③社会的側面の3つの観点から、スポーツがもたらす効果について、あなたの意見を1000文字程度で述べなさい。

表1 スポーツが個人や社会にもたらす効果

n=20,000

	全体	男性	女性
健康・体力の保持増進	71.00%	68.20%	73.70%
精神的な充足感	42.90%	41.50%	44.30%
人と人との交流	37.40%	34.40%	40.40%
達成感の獲得	25.10%	21.70%	28.40%
青少年の健全な発育	24.20%	23.60%	24.80%
リラックス、癒し、爽快感	24.20%	21.90%	26.50%
フェアプレイ精神(公正さと規律を尊ぶ態度)の醸成	20.00%	20.00%	20.40%
豊かな人間性	20.10%	18.50%	21.70%
思考力や判断力の発達	19.20%	18.30%	20.10%
地域の一体感や活力	18.00%	17.60%	18.40%
夢と感動	16.10%	14.70%	17.50%
リーダーシップ、コミュニケーション能力	15.80%	15.60%	16.10%
他者を尊重し協同する精神	15.70%	15.00%	16.40%
克己心(自分の欲望を抑える力)、自制心	13.60%	14.00%	13.20%
長寿社会の実現	12.70%	11.80%	13.50%
経済の活性化	9.20%	9.50%	8.90%
国際相互理解の促進	6.30%	5.80%	6.70%
生産性の向上、仕事・学業の能率アップ	5.70%	5.20%	6.20%
我が国の国際的地位の向上	3.60%	3.70%	3.50%
その他	0.20%	0.20%	0.20%
どれも当たらない	7.50%	8.50%	6.50%
わからない	10.20%	11.00%	9.50%

出典：スポーツ庁『平成29年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」について～週1日以上スポーツ実施率は51.5%（前年度42.5%）へ向上～』（平成30年2月27日公刊）

受験番号_____

氏名_____

2020 - 春季一般

法政大学大学院
入学試験問題用紙

試験科目	スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻
専門科目	試験時間 90 分

解答は全て解答用紙（別紙）に記入すること。

問1．次の用語のうちから3つを選び、それぞれ120文字程度で説明しなさい。
（各解答欄の上に、選択した項目の番号を記すこと）

- 1．遠心性収縮、求心性収縮および等尺性収縮
- 2．徒手筋力測定（MMT）
- 3．メディアスポーツ
- 4．スポーツエージェント
- 5．フィジカル・リテラシー（physical literacy）
- 6．部活動指導員

問2．次の設題について、1000文字程度で論述しなさい。

東京2020オリンピックにおいてあなたがこれまで学んだことを題材として、最も注目したい事項について三段論法（大前提、小前提および結論という3個の命題を取り扱い）を用いて1000字程度で論述せよ。

受験番号_____

氏名_____

2021 - 秋季一般

法政大学大学院

入学試験問題用紙

試験科目	スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻
専門科目	試験時間 90 分

解答は全て解答用紙（別紙）に記入すること。

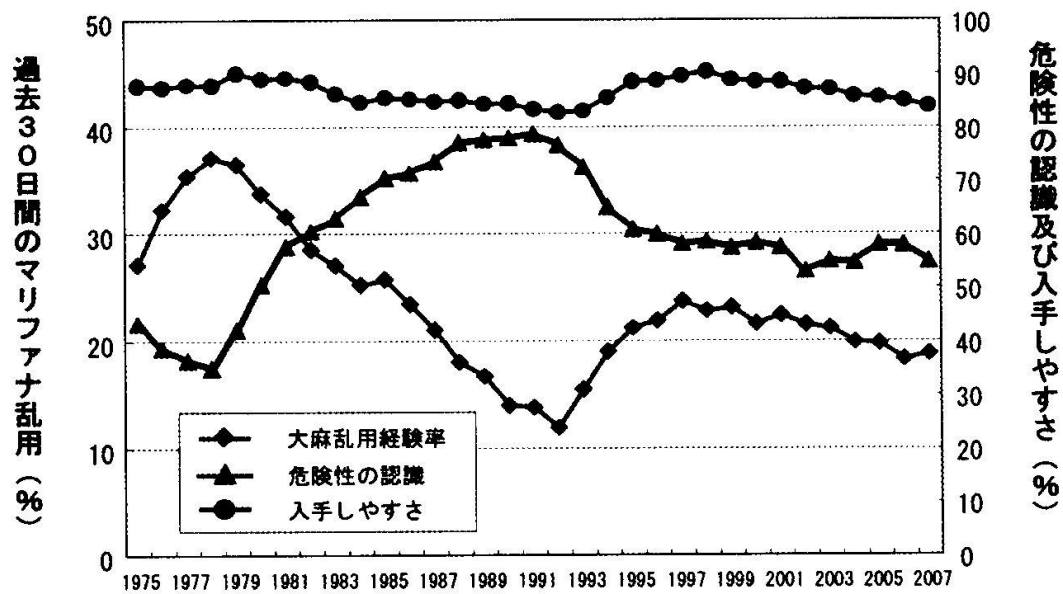
問1．次の用語のうちから3つを選び、それぞれ120文字程度で説明しなさい。

（各解答欄の上に、選択した項目の番号を記すこと）

1. セッション RPE
2. プログラムデザイン
3. スポーツのマーケティング (Marketing of sport)
4. スポーツを通じたマーケティング (Marketing through sport)
5. アントラージュ (entourage)
6. 剛体リンクモデル (rigid body link model)

問2．次の設題について、1000文字程度で論述しなさい。

たばこや大麻は、青少年にとってはゲートウェイドラッグとして捉える必要がある。以下の図はアメリカの高校生における大麻乱用の危険性の認識と乱用状況との関係を示したものである。この図から読み取れること及びどのような対策が必要か、日本の現状認識も踏まえ、健康の視点から1000字程度で述べよ。



(出典 : Monitoring the Future 2007)

受験番号_____

氏名_____

2021 - 春季一般

法政大学大学院

入学試験問題用紙

試験科目	スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻
専門科目	試験時間 90 分

解答は全て解答用紙（別紙）に記入すること。

問1．次の用語のうちから3つを選び、それぞれ120文字程度で説明しなさい。

（各解答欄の上に、選択した項目の番号を記すこと）

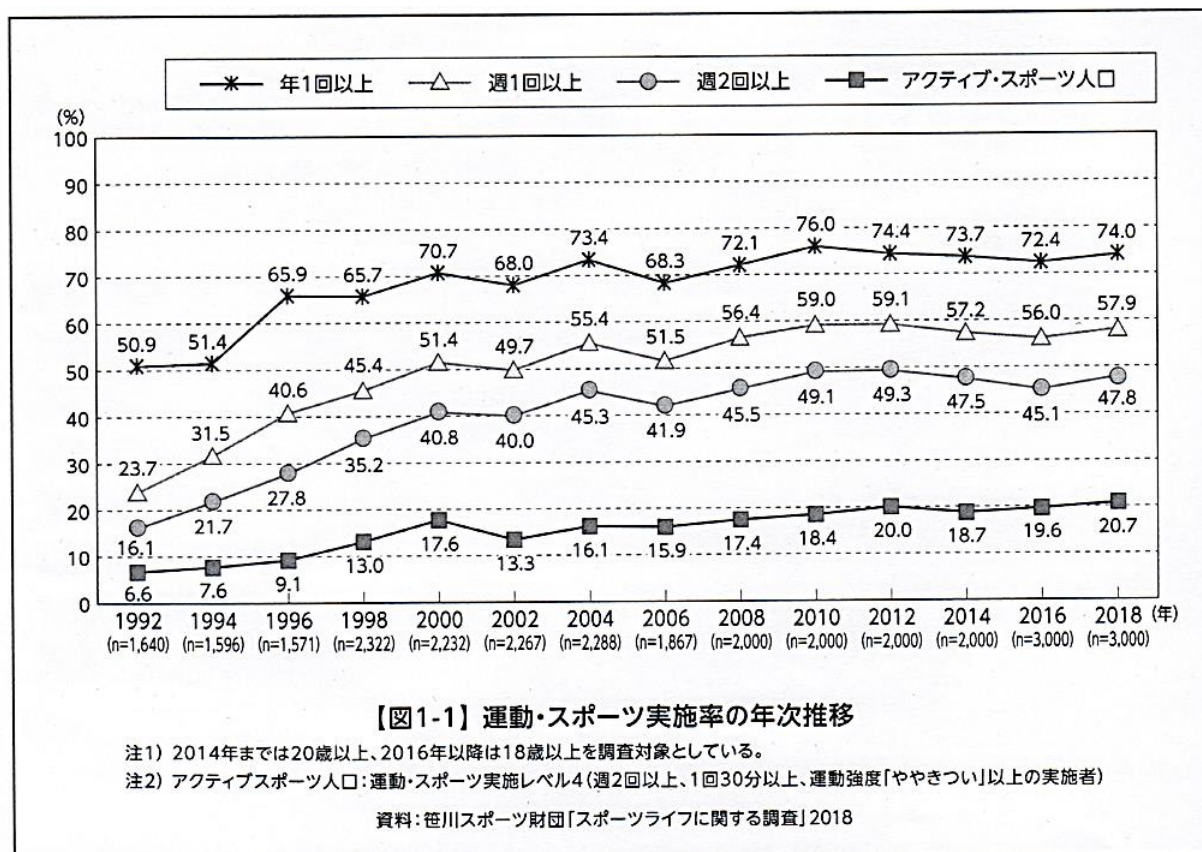
- 1．肩関節周囲炎
- 2．野球肘
- 3．SDGs
- 4．ブランドアイデンティフィケーション
- 5．身体重心
- 6．Peak Height Velocity

問2．次の設題について、1000文字程度で論述しなさい。

過去20年の間に日本人のスポーツ実施率は増加した。例えば、1998年に「週1回以上、運動・スポーツを行った」と回答した人の割合は45.4%だったが、2018年には57.9%まで上昇した（図1：運動・スポーツ実施率の年次推移）。一方、スポーツ市場は全体的に縮小傾向であり、1998年に5兆3300億円だった市場規模は、2018年に4兆1270億円まで減少した（表1）。これらの結果は、スポーツ市場が伸び悩む状況であっても、日本人のスポーツ実施率が増加していることを意味している。この論述問題では表1（余暇市場の推移）と表2（週1回以上の種目別運動・スポーツ実施率および推計人口）を分析し、週1回以上のスポーツ実施率が増加した理由を論じなさい。論述の際、以下の3点について説明することとし、必要に応じて具体例を示しなさい。

- (1) 特定の運動・スポーツ種目を行うために必要となる用品・用具（表 1）とスポーツ実施率の関係
- (2) 特定の運動・スポーツ種目を行うために必要となる施設・スクール（表 1）とスポーツ実施率の関係
- (3) 特定の運動・スポーツ種目（表 2）とスポーツ実施率の関係

図 1 運動・スポーツ実施率の年次推移



出典：笹川スポーツ財団（2019）スポーツライフデータ 2018

表 1 余暇市場の推移：スポーツ部門

余暇市場の推移		(億円)	
(イ)スポーツ部門		1998	2018
1.球技スポーツ用品		7,460	5,650
(1) ゴルフ用品		5,000	3,430
(2) テニス用品		850	540
(3) 卓球・バドミントン用品		330	380
(4) 野球・ソフトボール用品		1,040	1,070
(5) 球技ボール用品		240	230
2.山岳・海洋性スポーツ用品		9,430	6,440
(1) スキー・スケート・スノーボード用品		2,870	1,160
(2) 登山・キャンプ用品		1,770	2,240
(3) 釣 具		2,940	1,720
(4) 海水中用品		1,850	1,320
3.その他のスポーツ用品		3,200	4,670
(1) スポーツ自転車		1,460	2,570
(2) その他のスポーツ用品		1,740	2,100
4.スポーツ服等		3,790	5,150
(1) トレ競技ウエア		2,260	3,020
(2) スポーツシューズ		1,530	2,130
5.スポーツ施設・スクール		28,160	17,720
(1) ゴルフ場		16,840	8,540
(2) ゴルフ練習場		2,360	1,240
(3) ボウリング場		1,550	620
(4) テニスクラブ・スクール		500	600
(5) スイミングプール		2,800	1,310
(6) アイススケート場		100	60
(7) フィットネスクラブ		2,850	4,800
(8) スキー場(索道収入)		1,160	550
6.スポーツ観戦料		1,260	1,640
小	計	53,300	41,270

出典：日本生産性本部（2019）レジャー白書 2019

表2 週1回以上の種目別運動・スポーツ実施率および推計人口

全 体 (n=3,000)				男 性 (n=1,491)			女 性 (n=1,509)		
順位	実 施 種 目	実施率 (%)	推計人口 (万人)	順位	実 施 種 目	実施率 (%)	順位	実 施 種 目	実施率 (%)
1	散歩(ぶらぶら歩き)	19.1	2,025	1	ウォーキング	16.2	1	散歩(ぶらぶら歩き)	22.3
2	ウォーキング	17.8	1,887	2	散歩(ぶらぶら歩き)	15.9	2	ウォーキング	19.4
3	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	13.2	1,399	3	筋力トレーニング	11.7	3	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	17.0
4	筋力トレーニング	10.4	1,103	4	体操(軽い体操、ラジオ体操など)	9.4	4	筋力トレーニング	9.1
5	ジョギング・ランニング	5.4	572	5	ジョギング・ランニング	7.8	5	ヨーガ	5.0
6	ヨーガ	2.9	307	6	ゴルフ(練習場)	4.0	6	ジョギング・ランニング	3.0
7	サイクリング	2.2	233	7	サイクリング	2.9	7	バレーボール	2.1
8	ゴルフ(練習場)	2.1	223	8	サッカー	2.3	8	水泳	2.0
9	水泳	2.0	212	9	水泳	1.9	9	サイクリング	1.6
10	サッカー	1.3	138	10	野球	1.9	10	バドミントン	1.5
	バレーボール	1.3	138	11	キャッチボール	1.7	11	卓球	1.2
12	バドミントン	1.1	117	12	釣り	1.4	12	テニス(硬式テニス)	1.2
	キャッチボール	1.0	106	13	グラウンドゴルフ	1.1	13	エアロビックダンス	1.0
13	卓球	1.0	106		バスケットボール	1.1		なわとび	1.0
	テニス(硬式テニス)	1.0	106		ソフトボール	0.9	15	ピラティス	0.9
16	グラウンドゴルフ	0.9	95	15	テニス(硬式テニス)	0.9	16	アクアエクササイズ(水中歩行など)	0.8
	野球	0.9	95		フットサル	0.9		グラウンドゴルフ	0.7
18	バスケットボール	0.8	85	18	卓球	0.8	17	ソフトバレー	0.7
19	アクアエクササイズ(水中歩行など)	0.7	74		バドミントン	0.8		太極拳	0.7
	釣り	0.7	74	20	ゴルフ(コース)	0.7		フラダンス	0.7
					ヨーガ	0.7			

注1) 推計人口:18歳以上人口の106,011,547人(2017年1月1日時点の住民基本台帳人口)に、実施率を乗じて算出。
(18歳以上の男性は51,255,646人、18歳以上の女性は54,755,901人)

注2) 回答選択肢「その他(自由記述式)」の内訳も集計に含めている。

資料: 笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」2018

出典: 笹川スポーツ財団 (2019) スポーツライフデータ 2018

受験番号_____

氏名_____

2022 - 秋季一般

法政大学大学院
入学試験問題用紙

試験科目	スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻
専門科目	試験時間 90 分

解答は全て解答用紙（別紙）に記入すること。

問1．次の用語のうちから3つを選び、それぞれ120文字程度で説明しなさい。
（各解答欄の上に、選択した項目の番号を記すこと）

1. スポーツ心臓
2. 特定健診・保健指導
3. チームロイヤルティ
4. スポーツにおけるソーシャルインパクト
5. オリンピズム
6. スポーツにおける「技術」と「技能」

問2．次の設題について、1000文字程度で論述しなさい。

スポーツ庁の調査結果（下図）によると、運動・スポーツの実施を阻害する主な要因として、「苦手だから」という苦手意識がある。この結果は同庁による過去3年間の同様の調査において一貫しており、社会全体における生涯スポーツの実施を促進していく上で、この苦手意識の改善は重要な検討課題であるといえる。では、特に中学・高校の学校体育においては、どのような点に留意しながら生徒たちの運動学習は進められるべきであろうか。以下の（1）～（4）の内容を踏まえながら、あなたの考えを具体的に述べよ。

- （1） 想定する体育の授業で実施する運動種目（単元）は自由に決めてよい。
- （2） 想定する体育の授業には、「運動が得意な生徒」と「運動に苦手意識を持つ生徒」がそれぞれ一定数含まれるとする。

(3) 苦手意識を助長する授業の進め方にも言及すること。

(4) 論述の際は以下の 3 つの語句をすべて用いること。

動機づけ 統制感 (※) 目標設定

※ 運動に対する自信である「運動有能感」の構成要素の一つとされ、「自分も努力して頑張れば達成できる」という感覚や認知のこと

図 2-2-カ 運動・スポーツの実施阻害要因③運動・スポーツが嫌いな理由 (Q20)

<複数選択可>※「もっとも大きな理由」は<単一回答>

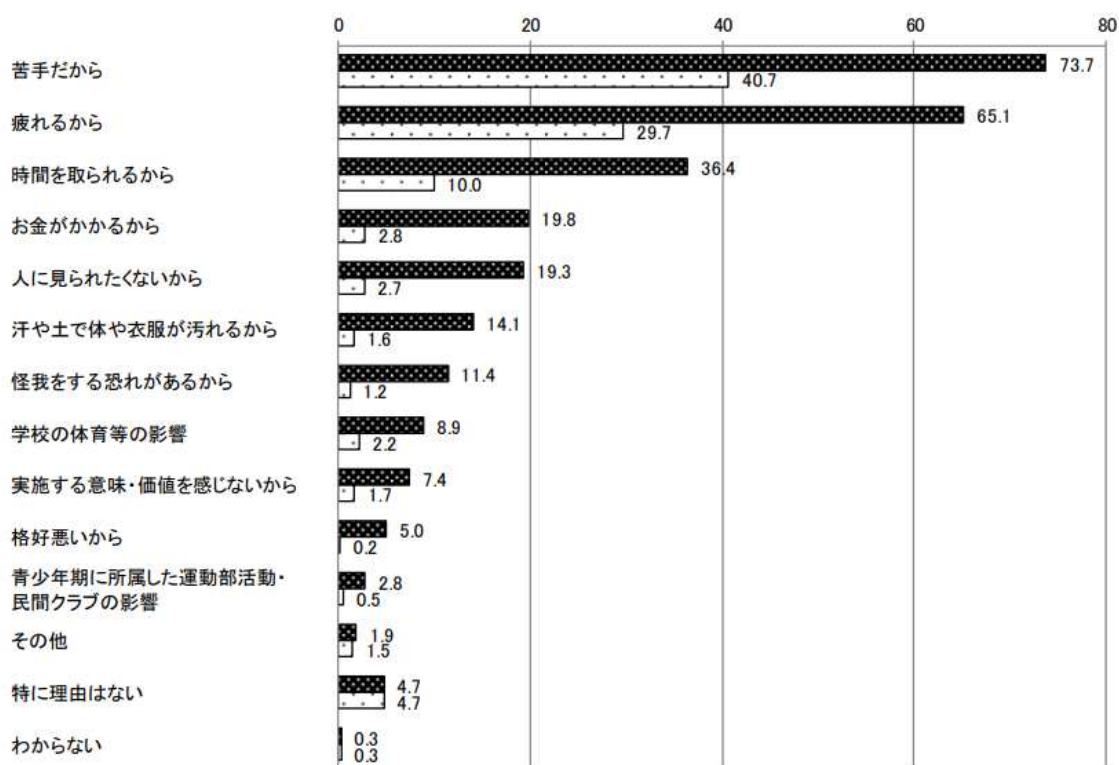
[基数：運動・スポーツが嫌いな者]

n=1689

%

■ 運動・スポーツが嫌いな理由

□ 運動・スポーツが嫌いなもっとも大きな理由



出典：スポーツ庁『令和 2 年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(令和 2 年 11～12 月調査)』

受験番号_____

氏名_____

2022 - 春季一般

法政大学大学院
入学試験問題用紙

試験科目	スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻
専門科目	試験時間 90 分

解答は全て解答用紙（別紙）に記入すること。

問1. 次の用語のうちから3つを選び、それぞれ120文字程度で説明しなさい。
（各解答欄の上に、選択した項目の番号を記すこと）

1. 鉄欠乏性貧血
2. 地域支援事業における介護予防事業
3. ファンエンゲージメント
4. スポーツ関与
5. (内在的・外在的) フィードバック
6. 勝利至上主義

問2. 次の設題について、1000文字程度（各問500字程度）で論述しなさい。

以下の図は、日本スポーツ振興センターが競技団体・日本トップリーグ連携機構（JTL）加盟チームと大学を対象に実施した「アスリートのキャリアに関する実態調査」の結果の一部である。それによると競技団体・JTL加盟チームのケースでは、対象のうちの半数以上において、アスリートに対して「(引退後の) キャリア支援を行っていない」という実態が示されている（図左側）。これについて以下の（1）と（2）の問いに答えよ。

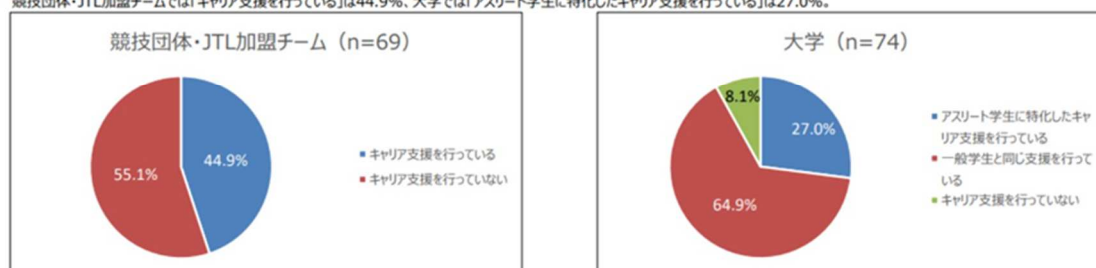
- (1) 現役のアスリートに対して、引退後を視野に入れたキャリア支援を行う場合に想定されるメリットとデメリットを合わせて500字程度で述べよ。
- (2) アスリートが競技を通して培ってきた能力要素を見出し、それをスポーツ以外でも積極的に活用していくことを促すキャリア支援を行うことを考える。下線部としてどのようなものを挙げることができるか。以下の①～③の条件に沿ってあなたの考えを500字程度で述べよ。

- ① スポーツに限らず、さまざまな人間活動の場に適用可能な能力要素であること（例：協調性）
- ② 該当すると考えられる能力要素を 2 個以上挙げよ。また、それらがスポーツを通して培われるとする根拠も述べよ。
- ③ 能力要素の名称は自由とする（例：〇〇力、〇〇性、〇〇に関する能力）

アスリートのキャリアに関する実態調査 結果

【競技団体・JTL加盟チーム、大学によるキャリア支援の状況】

競技団体・JTL加盟チームでは「キャリア支援を行っている」は44.9%、大学では「アスリート学生に特化したキャリア支援を行っている」は27.0%。



出典：日本スポーツ振興センター事業報告書（2019 年度）（アスリートのキャリアに関する実態調査）